

# Logistics Efforts

物流の取り組み



2021年度の輸送におけるCO<sub>2</sub>排出量

# 13%削減

(2016年度比)



## モーダルシフトの推進

ジャトコではグリーン物流としてCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでおり、2016年から5年間で13%削減しました。

部品輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、日本国内のお客さまの理解を得ながらモーダルシフトを推進しています。

具体的には、ジャトコの生産拠点である静岡までの調達部品の輸送に2005年度より広島方面(約780km)からの部品輸送をトラックから鉄道に切り替えました。この結果、CO<sub>2</sub>削減率で83.3%の効果をあげることができました。

また、2019年9月よりジャトコ富士地区から京都八木地区へのジャトコ生産部品の輸送にダブル連結トラックを導入しました。高積載率での輸送を行い、CO<sub>2</sub>削減につなげました。

今後もモーダルシフトや積載率効率アップによるトラック台数削減などを推進していきます。



鉄道輸送



ダブル連結トラック

■CO<sub>2</sub>排出量原単位の推移(指数)



\*CO<sub>2</sub>排出量原単位: CO<sub>2</sub>排出量(t-CO<sub>2</sub>)÷輸送荷量(kt-km)

## 鍛造工程の残熱を利用

ジャトコでは、従来、熱間鍛造後に部品をいったん冷却し、再度加熱して粗材熱処理を実施する工程を採用していましたが、現在、熱間鍛造後の残熱を利用する熱処理方式(自熱焼鈍化)への変更を推進しています。別ラインで熱処理されていた工程を一貫ライン化することが可能となり、ライン間の物流も省略できました。

